

# 小倉擬百人一首

正三位家隆

風をそぐ

小川の

夕暮ハ

みそだぞ

夏の

ありける



徳兵衛の會義、油枝川小倉の月影より  
 清く團七の意氣智ハタとつゝまろ  
 岸辺の常串山形代小茅の輪のハ長  
 町裏の雪踏の合紋身小打つけ一貫楠と  
 危急ととらふ夏祭ある

柳下亭種員筆記



團七九郎兵衛

一寸徳兵衛

應要  
 一陽齋  
 曲多團包





xrite ColorChecker® Color Rendition Chart